

2023年10月6日

SLもおか

**C1266号製造90年記念企画 第1弾
C1266号に黒い煙室扉ハンドルを装着します**

真岡鐵道(栃木県真岡市台町)では、観光列車「SLもおか」を牽引する蒸気機関車(SL)「C1266」号が、2023年11月末を以て製造から90年(卒寿)を迎えることを記念し、複数の記念企画を予定しています。

今回、その第1弾として、10月7日(土)より同機関車に通常と異なる『黒い煙室扉ハンドル』を装着し、現役時代の姿を一部再現します。

普段とは違った姿のC1266号に、この機にぜひ会いに来てください！



▲SLもおかを牽引するC1266号

【概要】

1) 企画内容

SLもおかを牽引する蒸気機関車C1266号の煙室扉ハンドルを、通常と異なる黒いハンドルに交換します。

2) 実施期間

2023年10月7日(土) から 2024年3月17日(日)まで

※都合により急遽変更になる可能性があります。

3) C1266号の変更点

機関車正面に装着されている煙室扉ハンドル (矢印示した部分)について、現在装着している金色のハンドルから、『黒色のハンドル』に交換します。



【煙室扉(戸)ハンドルとは】

蒸気機関車の車体上に設置された円筒状のボイラーの前頭部は『煙室』と呼ばれる空間になっており、石炭の燃焼ガスとシリンダーから排出された蒸気の通り道になっています。

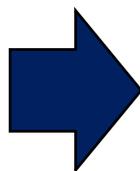
この煙室の扉(戸)を、室内の気密性を保つために締め付ける役割を持つのが煙室扉(戸)ハンドルです。

C1266号が国鉄で使用されていた当時は黒いハンドルを装着しており、その再現になります。

【外観変更のイメージ】



変更前の C1266 号



変更後の C1266 号

4) C1266号の経歴

C1266号は、旧国鉄時代に製造されたC12形蒸気機関車の66号機として、1933年に山口県で製造されました。

鹿児島や釜石、弘前、上諏訪などで活躍し、1972年に廃車になるまでの総走行距離は172万kmに及びます。約40年という長い現役生活に終止符を打った同機は、福島県川俣町のふもとがわ団地の片隅で静かに展示されていました。

1991年、SL列車運行を目指す芳賀地区広域行政事務組合へ譲渡され、1993年に動態復活。『川俣号』と命名され、1994年より真岡鐵道真岡線でSLもおかを牽引しています。



▲現役時代末期の C1266 号(飯山線)

5) 乗車・予約方法など

S Lもおかのご乗車には、乗車区間の普通乗車券のほか、別途S L 整理券が必要です。

• ご予約について(※おすすめ)

S L 整理券のご購入は、真岡鐵道公式サイトからの事前予約をおすすめしています。予約方法や当日のご乗車についての詳細は、下記ページをご覧ください。

→ <https://www.moka-railway.co.jp/sl-yoyaku/?ym=2020-7>

• 当日券の販売について

当日券は、予約数に余裕がある際に販売し、定員に達し次第販売終了します。イベント列車運行日などの多客時は当日券が無い場合もございます。

当日券の販売状況については、真岡鐵道までお問い合わせください。

• 当日のご購入と乗車について

運行日当日、真岡鐵道の有人駅(下館駅、真岡駅、益子駅、茂木駅)の窓口で販売します。発車時刻に間に合うよう、余裕を持ってお越しください。

無人駅からのご乗車の際は、乗車後に車掌よりお買い求めください。

【S Lもおかについて】

S Lもおかは、1994年3月から真岡鐵道真岡線にて運行されている、蒸気機関車(S L)牽引の観光列車です。詳しくは下記をご覧ください。

→ <https://www.moka-railway.co.jp/slmoka-intro/>

【ご乗車にあたっての注意事項】

車両の故障や事故、天候などにより急な運休が発生することがあります。予めご了承ください。